
23号 北海道がんセンターたより

平成18年2月発行

独立行政法人国立病院機構 北海道がんセンター
〒003-0804 札幌市白石区菊水4条2丁目3-54 TEL 011-811-9111
□ホームページ <http://www.sap-cc.org> 編集発行人:山下 幸紀



北海道がんセンターの理念

私たちは、国民の健康で幸福な生活のため、最新の知識と医療技術をもとに、良質で信頼ある医療の提供に努め、特に「がん克服」に寄与することを目指します。このため、

- 常に、医療の質と技術の向上を目指します。
- 研究、教育研修を推進し、医療・医学の発展に寄与します。
- 患者さんの権利を尊重し、誠実な医療を実践します。
- 自主自律、創意工夫の精神で病院運営に当たります。

乳腺外科トピックス



外科医長 田村 元

◆乳がん検診について

従来日本では視触診のみの検診が行われていましたが、平成16年の法律の改正で40才以上からも2年に一回のマンモグラフィー検診が標準的な方法となり、視触診はマンモグラフィーを補助するものと位置づけられています（いまや視触診単独の検診はあり得ない方法です）。札幌市の方であれば偶数歳の場合に補助があります。札幌市以外の方は役所に問い合わせて補助の対象、受けることができる場所などについて確認して下さい（多くの自治体で補助があります）。欧米では政府が強力に受診を勧めているために70～80%の方が受けており、乳がんで亡くなる方が減ってきています。しかし現在日本ではマンモ検診を受けている方は10%前後と思われます。よって乳がんにかかる人がとても増えるのにあわせて亡くなる方が増加している現状です。40歳以上のみなさん、面倒がらずに一度マンモグラフィー検診を受けてみてはどうでしょうか。

◆エコー検診について

エコー検診は、主にマンモグラフィー検診では見落とされる乳がんを拾い上げるために実施しています。マンモグラフィーで乳がんが見落とされる一番の理由は、濃い乳腺の影に乳がんの影が隠れる人がいることです。そのような乳がんはほとんどエコーで見ることができるために、特に乳腺が濃く写る人ではエコー検診がマンモグラフィーの見落としを拾い上げると期待されています（最近の学会ではマンモグラフィー検診に加えてエコー検診を受けることで約2割多く乳がんが発見されると報告されています）。よってエコー検診をお勧めしたい人は (1) 自覚症状のない40歳代でマンモグラフィー検診を2年以内に受けている人 (2) 35から39歳の人 (3) 50歳以上でもマンモグラフィーで乳腺濃度が濃い方です。当院では講習会を受講し訓練された技師が施行しています。

料金は3千円（税込）です。金曜日の午後に行います。あらかじめ予約が必要ですので外科外来に電話で予約をいれて下さい。

Contents もくじ *****

乳腺外科トピックス	外科医長 田村 元	1
おしっこの中の細胞を検査？	臨床検査技師 松林 聡	2
「ホルモン療法が効くかどうか、検査してみます」と医師にいわれた事はありますか？	臨床検査技師 東 学	3
雪道を歩くコツ	臨床検査技師 中島真奈美	4

おしっこの中の細胞を検査？

臨床検査技師 松林 聡

今回は尿細胞診について膀胱がんを中心にお話したいと思います。

どんな方法で検査するの？

膀胱がんは、膀胱鏡や尿細胞診が有効な検査です。ひとたび膀胱がんが見つかった場合には、他のがんと同様に、CTや胸部X線撮影、腹部のエコーなどでその拡がりや転移の有無を調べる必要があります。

尿細胞診って？

尿中の細胞を顕微鏡でみて、悪性の細胞の有無を調べる検査です。

主に膀胱がんや腎盂・尿管がんの診断に用いられます。

尿中に悪性を考える細胞が見られた場合には膀胱がんや腎盂・尿管がんの存在が強く疑われます。

しかし、そのような細胞がないからといって膀胱がんや腎盂・尿管がんが否定できるものではありません。当院では尿中の少ない細胞を効率良く集め、病変をいち早く捉えることができるThinlayerという方法で検査をおこなっています。

膀胱がんって？

膀胱は骨盤内にある臓器で、腎臓でつくられた尿を一時的に貯留する一種の袋の役割を持っています。

膀胱の表面は移行上皮という名前の上皮でおおわれ、伸縮性に富むことが特徴的です。膀胱がんは、ほとんどの場合この移行上皮ががん化することによって引き起こされます。膀胱がんも含めて、移行上皮がんの発生にはいくつかの危険因子があることがわかっています。化学発がん物質による職業性発生は有名です。また喫煙も、移行上皮がんの発生の危険率を高くすることが指摘されています。喫煙者は、非喫煙者の2～3倍の割合で膀胱がんになりやすいといわれています。男女比では女性より男性に多く、女性の約3倍多いといわれています。

どんな症状なの？

1) 肉眼的血尿

膀胱がんの初発症状として、最も多く認められる症状です。膀胱炎と違って、痛みは伴わないことが一般的です。しかし、血尿があるからといって、必ずしも膀胱がんをはじめとする尿路系のがんがあるとも限りません。

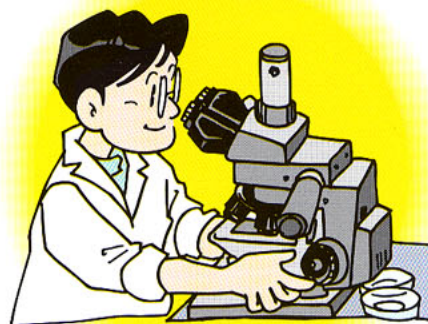
2) 排尿痛

ときに、膀胱がんの初発症状が排尿時痛や下腹部の痛みで出現する場合があります。この症状は膀胱炎と非常に類似していますが、抗生剤を服用してもなかなか治らないことが特徴です。

どのような病気でも同じですが、早期発見、早期治療が大切です。

血尿・排尿痛などの自覚症状がありましたら、泌尿器科を受診してください。

また膀胱がんは膀胱が存在する限り、膀胱内に再発する可能性は常にあります。治療後は、定期的に外来に通院し、膀胱鏡や尿の細胞診でチェックしてもらう必要があります。担当医の指示にしたがってください。



「ホルモン療法が効くかどうか、検査してみます」 と医師にいわれた事はありませんか？

臨床検査技師 東 学

がんのなかには、体内のホルモンを活力の源として大きくなるものがあります。この様ながんの代表的なものとしては、乳がんや子宮体部がん・前立腺がんなどが知られています。ホルモン療法の対象となるのがこのタイプのがんなのです。

しかし、必ずしもホルモン療法の効果が期待できるとは限りません。治療に先立ってこの治療方法の効きめがあるかどうか？の検査が当院では行われています。

【カギとカギ穴】

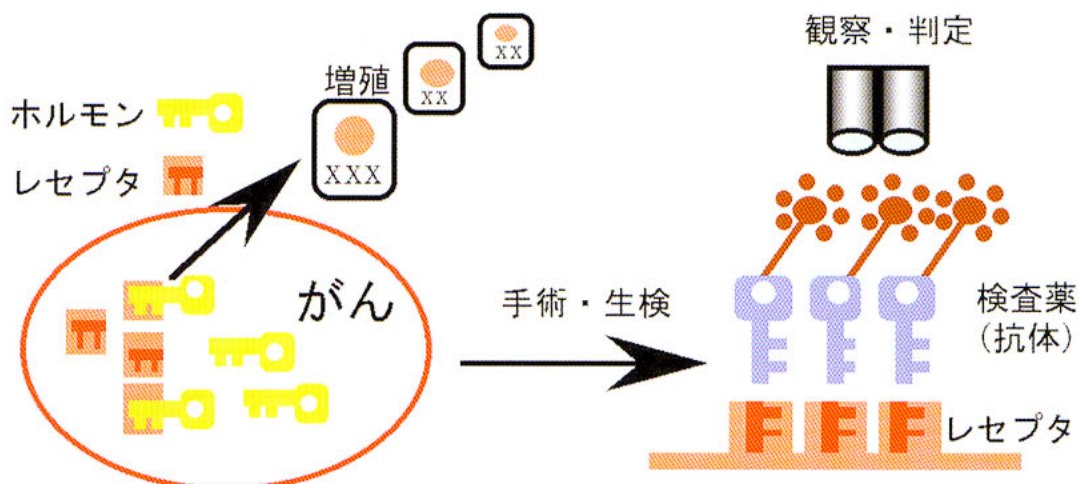
乳がんを例としてお話ししましょう。乳がん細胞は女性ホルモンで増殖するということが聞いた事がありでしょう。その理由は次の通りです。乳がん細胞の中には女性ホルモンと結合する都合の良い構造を持ったたんぱく質（レセプタといいます）が多く含まれていることがあります。これをカギ穴としましょう。このカギ穴に、乳がん細胞の中に入ってきた女性ホルモンがカギとしてくっつき、さらにがん細胞の核を刺激してがん細胞を増殖させるきっかけを作るとされています。女性ホルモンがいくらあってもカギ穴となるレセプタがないと女性ホルモンはがん細胞を増殖させる力が働かなくなるとも言えます。ホルモン治療に使われるお薬のあるものは

このカギ穴と結合し女性ホルモンの働きを抑えてしまいます。ですから、手術や体に針を刺して患者さまから取られたがんの病変部に、どれくらいこのカギ穴（レセプタ）が含まれているかを検査すれば、そのがん細胞がどれだけ女性ホルモンに頼って増殖しているのかを推測できるのです。この検査は今では顕微鏡で観察できるようになりました。

【免疫組織化学染色法？】

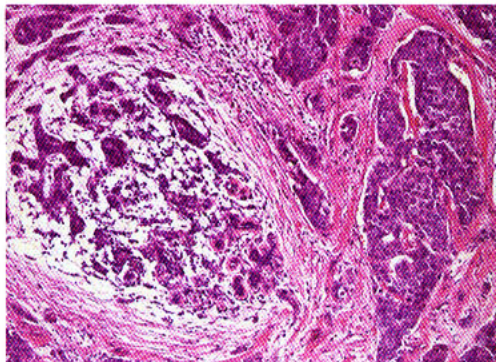
それではどのようにして顕微鏡でみるのでしょうか？実際には免疫組織化学染色法という検査が行われます。これは通常の検査では細胞の顔つきや態度しか判断できませんが、さらに細胞の外見だけでは無く性格も見抜いてしまおうとする検査です。病変部の観察したい部分のみに結合する検査薬をガラス板上で作用させ、結合した部分のみに色を付け顕微鏡で観察できる様にする検査です。

先ほどの「カギとカギ穴」に例えると本来ホルモンであるカギの他にもう一本検査用の同じカギを準備しておきます。そしてこのカギには分かりやすい様にキーホルダーをつけます。実際の検査の時には、このマスターキーをカギ穴に差し込み、つけておいたキーホルダーに色をつけ見やすい様にするのです。

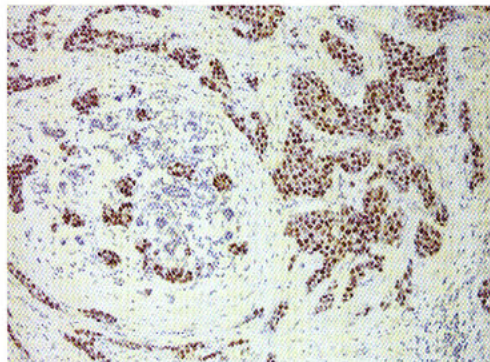


写真の左側は、一般的に行われる組織検査の色付けです。これだけではどこにカギ穴がひそんでいるのか分かりません。そこで免疫組織化学染色の登場です。右の写真の様に観察したいものが、茶色に色づけられ浮かび上がってくるといった仕組みです。

この数の多さや色の濃さによって病理の専門医が



判定をし、それぞれ患者さまの担当医へ報告されます。現在、当病理検査室ではこの様な細胞の性格を見抜く検査薬（抗体とよばれています）を約90種類ほど所有し、管理及び診断精度の向上に努めています。



雪道を歩くコツ

臨床検査技師 中島 真奈美

毎年冬になると、私達を悩ます雪道。踏み固められた雪は、すぐにつるつるの雪道に変化してしまいます。しかし、買物や通院など、生活する上で避けては通れませんよね。既に実践されているとは思いますがいくつかの歩き方のコツを挙げてみましたので、改めてチェックしてみてもいいでしょうか。

■小さな歩幅で歩く

片足で立っている状態をなるべく短くするという事です。あまり足を高く持ち上げずに歩きます。

■足の裏全体をつけて歩く

「踵からつま先」と蹴りだすと滑りやすくなってしまいます。足の裏全体で踏みしめるように歩きましょう。

■急がず余裕をもって歩く

急ぐと路面に対する注意力が散漫になります。斜めになっているところや凍っているところは特に注意しましょう。

■重心はなるべく低くやや前方に

地面から近いところで歩くつもりで。重心がやや前にあることで、万が一転倒した時に頭を打つ可能性が低くなります。

その他にも…

■**ゴム底の滑りにくいものや、深い溝が施された軟らかめの冬底の靴を選びましょう。**

靴屋さんで底を張り替えてもらうのも一つの方法です。

■**ポケットに手を入れず、必ず手袋を着用しましょう。**

体のバランスもとりやすく、手袋はとっさの場合に手を保護してくれます。

